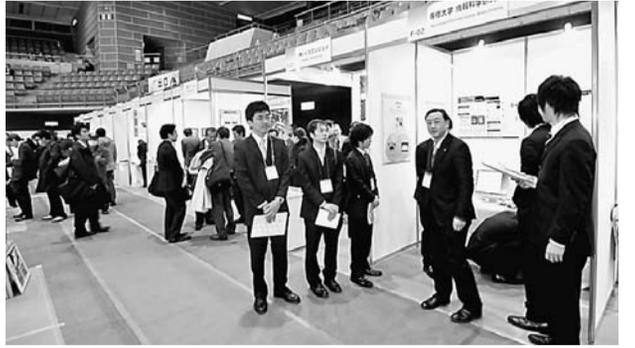


川崎国際環境技術展で研究成果を公開



2月4、5日の両日、川崎市とどろぎアリーナで開かれた「川崎国際環境技術展2010」に、本学からも情報科学研究所(所長)大曾根匡(経営学部教授)が中心となり出展した。写真。

「3D防災ゲームにおける小中学生の関心を集め、企業関係者からも防災関連の研究に質問が多数寄せられた。地球環境問題のアンケート調査では「環境問題を重要だ」と思っているが、日ごろの生活では、特に配慮しているという自信を持って「言えない」といった状況が浮かび上がった。

キャリアクター制御(一條貴彰さん)大学院経営学研究所・大曾根研究室、「AR(拡張現実感技術)を用いた防災対策効果の可視化(ネットワーク情報学部3年次吉田・飯塚プロジェクト)」、「無線センサネットワークによる地球環境モニタリングシステム」(同4年次綿貫理明研究室)など情報通信技術、ソフトウェアで環境にアプローチする5つのテーマを展示した。

3D防災ゲームやARは、

情報処理学会

50周年記念全国大会

3月9日から12日まで東京大学本郷キャンパスで行われた情報処理学会創立50周年記念全国大会にネットワーク情報学部が参加した。綿貫研究室の山口裕人さんと小菅拓真さんは「無線センサネットワークによる環境情報可視化の提案を、堀越永幸さんと玉井達也さんらと共に発表。また、

吉田・飯塚プロジェクト3年次の土屋勇人さん、浦邊真寛さん、望月翔さんは、「拡張現実感技術を用いた防災対策効果の可視化」を発表。また、



4年次生が後輩に力作披露

社会学専攻優秀卒業論文

文学部人文学科社会学専攻4年次生の優秀卒業論文発表会が1月27日、生田キャンパスで開かれ、4年次生3人が後輩学生ら200人に作品を披露した。09年度専修大学社会学会(川上周三会長)の中で行われたもの。同専攻10ゼミナールの指導教員が選んだ代表論文を、さらに大学院生が審査し優秀作を決める。今年度は次の3人。

▽新井謙太さん(写真)中央(馬場純子ゼミ)「社会福祉施設における『直接的援助』の現場が求めていること」知的障害者福祉施設職員の精神的疲弊から」

▽川口萌恵さん(同右)



「樋口博美ゼミ」なる独立都市八王子の課題。日本人は宗教を忌避するの。天理教からみる現代の若者の宗教観」

▽能登達也さん(同左)「大矢根淳ゼミ」東京一極集中化の構造における

▽大矢根淳さん(博士後期)「論評を加えた」

▽新井さんはボランティア活動研究同好会(樹々の会)でサークル活動をしており、社会福祉施設の職員が抱える問題を追求した。

「宗教」について切り込んだ川口さんは「昨夏、奈良県の天理教本部を訪問。ごく普通の若者が信心深く活動している点に興味を持った」とテーマの発想について話す。

生まれ育った八王子の活性化を探った能登さんは「自分の町の歴史や特記すべき点を自覚していないことに深く感じた。発表は緊張したが、いい経験だった」と語った。

学生たちが訪ねる様子が収録された。横浜や東京・新宿でもロケーションが展開された。

軍事郵便は戦時中、出征中の兵士が本国の家族などとの間で交わされた主として私信。新井ゼミが読み進めている手紙の内容は、「兵士が家族や知人を気遣う気持ちにあふれている」(新井教授)「死と隣り合わせの戦地からの手紙が、平和な時代に生きる現代の若者たちにどう受けとめられているのかを、カメラが丹念に追っ

た。同ゼミが昨年刊行した『ゲイタイ世代が「軍事郵便」を読む』も紹介された。

放送日は3月6日朝、関東甲信越地方・1都9県のお茶の間に流れた。「我が家にも軍事郵便が保管されている」など、新井教授の元には連日、反響が寄せられている。

昨年11月には、専修大学サテライトキャンパスで軍事郵便の展示会を開催。3月には新井教授と大学院生ら8人が高知入り。「戦地から土佐への手紙」を出版した市民団体から聞き取り調査をした。これらの活動も全国紙などに大きく取り上げ

「ザ・他流試合!」

他大学と合同で就職支援セミナー

専修大学、法政大学、共立女子大学、武蔵野大学、駒澤大学の3年次生を対象に、合同でグループディスカッション、グループ面接を指導するセミナーが、このほど法政大学で開かれ、3日間で約300人の学生が参加した(3月3日)。

グループディスカッション、グループ面接を指導するセミナーが、このほど法政大学で開かれ、3日間で約300人の学生が参加した(3月3日)。

グループディスカッション、グループ面接を指導するセミナーが、このほど法政大学で開かれ、3日間で約300人の学生が参加した(3月3日)。

NHKテレビに出演 反響呼ぶ

軍事郵便を読む新井勝紘ゼミ



軍事郵便を読み解き、戦争を考える実習を展開している文学部人文学科歴史学専攻の新井勝紘ゼミの活動の様子は、これまで新聞などに紹介され、反響を呼んでいる。

NHKの撮影は2月下旬に数日間行われ、生田キャンパスでのゼミ風景や、軍事郵便をたくさん保管している元兵士宅を新井教授や

ミ生(伴野文亮ゼミ長・3年次、40人)が、NHKニュース「おはよう日本」に出演した。新井ゼミの活動の様子はこれまで新聞などに紹介され、反響を呼んでいる。

NHKの撮影は2月下旬に数日間行われ、生田キャンパスでのゼミ風景や、軍事郵便をたくさん保管している元兵士宅を新井教授や

軍事郵便は戦時中、出征中の兵士が本国の家族などとの間で交わされた主として私信。新井ゼミが読み進めている手紙の内容は、「兵士が家族や知人を気遣う気持ちにあふれている」(新井教授)「死と隣り合わせの戦地からの手紙が、平和な時代に生きる現代の若者たちにどう受けとめられているのかを、カメラが丹念に追っ

た。同ゼミが昨年刊行した『ゲイタイ世代が「軍事郵便」を読む』も紹介された。

放送日は3月6日朝、関東甲信越地方・1都9県のお茶の間に流れた。「我が家にも軍事郵便が保管されている」など、新井教授の元には連日、反響が寄せられている。

昨年11月には、専修大学サテライトキャンパスで軍事郵便の展示会を開催。3月には新井教授と大学院生ら8人が高知入り。「戦地から土佐への手紙」を出版した市民団体から聞き取り調査をした。これらの活動も全国紙などに大きく取り上げ

「宗教」について切り込んだ川口さんは「昨夏、奈良県の天理教本部を訪問。ごく普通の若者が信心深く活動している点に興味を持った」とテーマの発想について話す。

生まれ育った八王子の活性化を探った能登さんは「自分の町の歴史や特記すべき点を自覚していないことに深く感じた。発表は緊張したが、いい経験だった」と語った。

学生たちが訪ねる様子が収録された。横浜や東京・新宿でもロケーションが展開された。

軍事郵便は戦時中、出征中の兵士が本国の家族などとの間で交わされた主として私信。新井ゼミが読み進めている手紙の内容は、「兵士が家族や知人を気遣う気持ちにあふれている」(新井教授)「死と隣り合わせの戦地からの手紙が、平和な時代に生きる現代の若者たちにどう受けとめられているのかを、カメラが丹念に追っ

「ザ・他流試合!」

他大学と合同で就職支援セミナー

専修大学、法政大学、共立女子大学、武蔵野大学、駒澤大学の3年次生を対象に、合同でグループディスカッション、グループ面接を指導するセミナーが、このほど法政大学で開かれ、3日間で約300人の学生が参加した(3月3日)。

グループディスカッション、グループ面接を指導するセミナーが、このほど法政大学で開かれ、3日間で約300人の学生が参加した(3月3日)。

グループディスカッション、グループ面接を指導するセミナーが、このほど法政大学で開かれ、3日間で約300人の学生が参加した(3月3日)。

日高学長と語り合う

Hi・Yo・Coの会

専修大学の付属4校出身者で構成され、高大連携活動に協力している「Hi・Yo・Coの会」と日高義博学長が語り合うTeaパーティーが3月2日、神田キャンパスで開かれた。写真。

学生の自己紹介と09年度の活動報告などのあと、取り組んできたプログラムを話題になごやかに意見交換が行われた。

専修大学の付属4校出身者で構成され、高大連携活動に協力している「Hi・Yo・Coの会」と日高義博学長が語り合うTeaパーティーが3月2日、神田キャンパスで開かれた。写真。

学生の自己紹介と09年度の活動報告などのあと、取り組んできたプログラムを話題になごやかに意見交換が行われた。

専修大学の付属4校出身者で構成され、高大連携活動に協力している「Hi・Yo・Coの会」と日高義博学長が語り合うTeaパーティーが3月2日、神田キャンパスで開かれた。写真。

学生の自己紹介と09年度の活動報告などのあと、取り組んできたプログラムを話題になごやかに意見交換が行われた。

専修大学の付属4校出身者で構成され、高大連携活動に協力している「Hi・Yo・Coの会」と日高義博学長が語り合うTeaパーティーが3月2日、神田キャンパスで開かれた。写真。

学生の自己紹介と09年度の活動報告などのあと、取り組んできたプログラムを話題になごやかに意見交換が行われた。

専修大学の付属4校出身者で構成され、高大連携活動に協力している「Hi・Yo・Coの会」と日高義博学長が語り合うTeaパーティーが3月2日、神田キャンパスで開かれた。写真。

学生の自己紹介と09年度の活動報告などのあと、取り組んできたプログラムを話題になごやかに意見交換が行われた。

専修大学の付属4校出身者で構成され、高大連携活動に協力している「Hi・Yo・Coの会」と日高義博学長が語り合うTeaパーティーが3月2日、神田キャンパスで開かれた。写真。

学生の自己紹介と09年度の活動報告などのあと、取り組んできたプログラムを話題になごやかに意見交換が行われた。

図書館企画展「書物の美にふれる 西洋における装飾術の継承」

▽日時=4月1日(木)~27日(火)、10時~17時※休館日:日曜、4月5日(月)▽場所=生田キャンパス9号館3階図書館▽問い合わせ=☎044(911)1274

相模原支部

校友会相模原支部では、神奈川県相模原市が4月1日から全国19番目の政令指定都市となることを記念し、初の試みとして「模擬店と無料法律相談室」を開設し、市民桜まつりに参加する。

▽日時:4月3日(土)13時~17時、4日(日)10時~17時▽会場:相模原市中央、市役所さくら通り。

校友会相模原支部

校友会相模原支部では、神奈川県相模原市が4月1日から全国19番目の政令指定都市となることを記念し、初の試みとして「模擬店と無料法律相談室」を開設し、市民桜まつりに参加する。

▽日時:4月3日(土)13時~17時、4日(日)10時~17時▽会場:相模原市中央、市役所さくら通り。

校友会相模原支部

校友会相模原支部では、神奈川県相模原市が4月1日から全国19番目の政令指定都市となることを記念し、初の試みとして「模擬店と無料法律相談室」を開設し、市民桜まつりに参加する。

▽日時:4月3日(土)13時~17時、4日(日)10時~17時▽会場:相模原市中央、市役所さくら通り。

校友会相模原支部

校友会相模原支部では、神奈川県相模原市が4月1日から全国19番目の政令指定都市となることを記念し、初の試みとして「模擬店と無料法律相談室」を開設し、市民桜まつりに参加する。

▽日時:4月3日(土)13時~17時、4日(日)10時~17時▽会場:相模原市中央、市役所さくら通り。

学生就職アドバイザーに聞く 去年の今ごろ④

面接やエントリーシートの締め切りなど、スケジュール管理が大変な時期でした。面接では飾らない方がいいのだとわかっていても、つい良く見せようと思っ

て、本来の自分よりも大きいことを言いがちですが、結局、結果にはつながりません。就職課スタッフに模擬面接をしてもらい「ありのままの自分を表現して」とアドバイスをされたのは、「素の自分」を出せるようになった。自信につながるようになった。

友人たちを見て不安になることもありました。3月後半になると自分の中の「働く意識」が高まり、結果が伴ってくる、自信につながるという好循環が生まれ、4月からの本番に向けて、気持ちの準備が整いました。



4月になって重複内定が出たときは、2週間ほど「内定アルー」状態に。就職課スタッフに相談しながら、「本音にやらないことは何なのか」を突き詰めて考え、当初から希望していたメーカーの営業に決めました。

校友会からのお知らせ

相模原支部

校友会相模原支部では、神奈川県相模原市が4月1日から全国19番目の政令指定都市となることを記念し、初の試みとして「模擬店と無料法律相談室」を開設し、市民桜まつりに参加する。

▽日時:4月3日(土)13時~17時、4日(日)10時~17時▽会場:相模原市中央、市役所さくら通り。

須藤 若菜さん(法)

先輩から、実際に企業を見たほうがいいとアドバイスされたので、セミナーには数多く参加しました。面接では、思ったことを存分に話すことができ、自分では満足していましたが、「もっと短くまとめて」と注意されたこともありました。そういったときでも落ち込まず、「いい経験ができた」と考えるようにしていました。「ポジティブシンキング」が私のアピールポイント。悩んだときも自分で解決することが多かったのですが、

尾前 千尋さん(法)

先輩から、実際に企業を見たほうがいいとアドバイスされたので、セミナーには数多く参加しました。面接では、思ったことを存分に話すことができ、自分では満足していましたが、「もっと短くまとめて」と注意されたこともありました。そういったときでも落ち込まず、「いい経験ができた」と考えるようにしていました。「ポジティブシンキング」が私のアピールポイント。悩んだときも自分で解決することが多かったのですが、

「ザ・他流試合!」

他大学と合同で就職支援セミナー

専修大学、法政大学、共立女子大学、武蔵野大学、駒澤大学の3年次生を対象に、合同でグループディスカッション、グループ面接を指導するセミナーが、このほど法政大学で開かれ、3日間で約300人の学生が参加した(3月3日)。

グループディスカッション、グループ面接を指導するセミナーが、このほど法政大学で開かれ、3日間で約300人の学生が参加した(3月3日)。

グループディスカッション、グループ面接を指導するセミナーが、このほど法政大学で開かれ、3日間で約300人の学生が参加した(3月3日)。